

公園事故リスクMAP

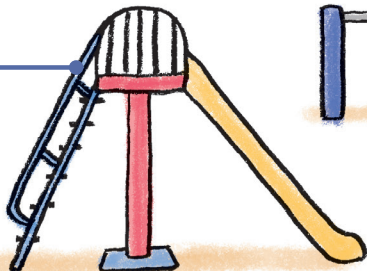
- ① 公園の環境によってリスクは変わります。事前に想定されるリスクを確認しておきましょう。
- ② 保育者の人数や子どもの発達段階に応じて職員配置を考えましょう。
- ③ 人数確認を行い、置き去り事故がないように徹底しましょう。
- ④ 転落や頭を強打した場合は躊躇せずに救急車を。園に連絡して応援の職員も呼びましょう。

遊具 適正年齢を確認してから遊ばせる

遊具で遊ぶ時は注意が必要

滑り台

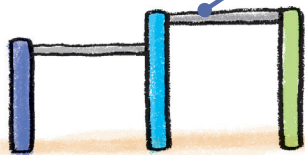
階段から落ちないように見守る、バッグやリュックは置いてから遊ばせる



前の人から滑り終わってから滑ろうね!

鉄棒

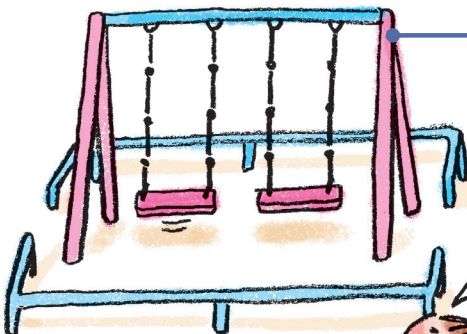
自力で上がれない子にはやらない、ぶつからないように距離を取る



先生が見てるところでやろうね!

ブランコ

ブランコにぶつからない、指を挟まないように注意する



少し離れたところで順番待ちしようね

植栽

枝が飛び出していないか確認する。子どもの目の高さは要注意

毛虫がいたりハチの巣があることも

犬

かみつく可能性があるため近寄らない

家で飼っていると警戒心なく近寄ることも



ベンチ

背もたれがないと後ろにひっくり返る。植栽の枝が頭に刺さることも

隙間に指を挟むことも

ゴミ箱

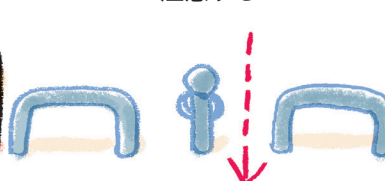
周辺に落ちているゴミは拾う

空き缶の中はたばこの吸い殻が入っている恐れも!



出入口

道路に出ないように注意する



カラス

カラスを見ない

繁殖期のカラスは攻撃的!

ハチ

近くに巣があることもハチが飛んでいるエリアには近づかない

池

のぞき込む時は必ずそばにいる

しゃがんで両手をついてから見るんだよ

駐輪場(自転車・バイク)

倒れてくる危険があるので近寄らない

バイクのマフラーが熱くなっているかも

電柱

ぶつからないよう、前を見て歩くように伝える

みんなで作る園の未来!

保育ナビ